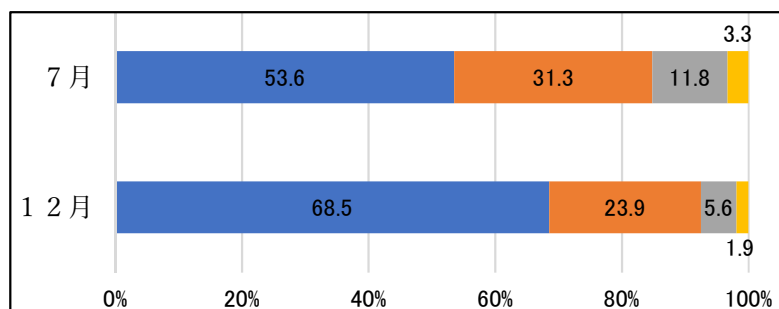


教育課程特例校の評価

児童による評価

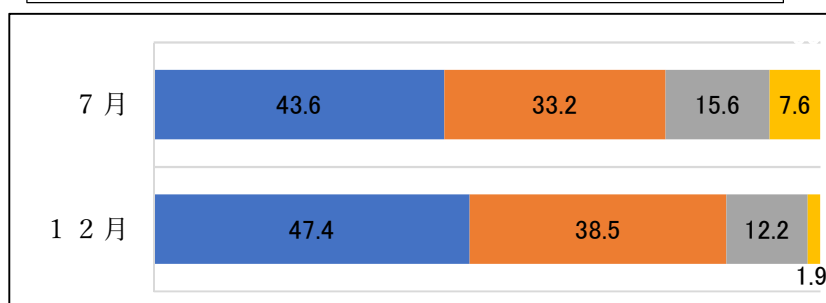
楽しく英語の学習に参加していますか。

とてもできる ■ できる ■ 少し ■ もう少し ■



- 「楽しく英語の学習に参加していますか」という問いに対して、「とてもできる」「できる」と答えた児童が、7月は84.9%、12月は92.4%であり、本校の9割以上の児童が「英語が楽しい」と肯定的にとらえている。中でも、12月は「とてもできる」の割合が13ポイント増えている。
- 英語の授業は、わくわくする／楽しくなる／おもしろい。
- 雰囲気明るい。
- 2人の先生がいて発音が分かりやすい。
- 正しい発音が分かる。
- 先生の会話のデモンストレーションが楽しい。
- 分からないときに、繰り返し教えてくれる。

英語を使って、自分の思いや考えを伝えようとしていますか。



- 「英語を使って、自分の思いや考えを伝えようとしていますか」の問いでは、「とてもできる」「できる」と答えた児童の割合は、7月は76.8%、12月は85.9%であった。

教師による評価

- 児童は、英語の学習に意欲的に取り組んでいる。日常でも英語を使っている姿をよく見るので、身近なものにできていると感じる。
- 積極的に習った表現を使う姿が見られた。「家でも英語を話す姿が見られるようになった」と保護者の方からも声をいただいている。
- 分からない表現に出会った時も、場面・状況や自分の知っている言葉を手がかりに推測して考える児童が増えてきている。
- コミュニケーションポイントを使ってほめることで、児童が自身の良さを実感しやすいと感じる。
- 抵抗感なく学習ができ、自信を持って話す児童が多いように感じる。

学校議員による評価(学校運営協議会)

- 私たちの頃は文法から学習して、話したり聞いたりすることは苦手である。しかし、児童は英語での会話を楽しんでいる。
- 地域にも子どもたちのがんばりを伝えて欲しい。
- 児童が抵抗なく英語を話している。
- 自信を持って英語で会話をしている。

熊本県教育委員会学校訪問(R2.12.16)

- 小坂小学校の英語教育の取組を広げて欲しい。
- 熊本地震の後、英語に取り組むことで子どもたちに元気が出た。
- 生き生きとした子どもたちが中学校へ行ってギャップを感じないような取り組みを進めて欲しい。
- 英語教育を進める中で、日本語では話せない思いを英語で話す児童もいた。
- 英語や異文化を学ぶことで、児童がどう変わったかを把握して欲しい。

